

科目名	機械工学ゼミナール Mechanical Engineering Seminar	科目コード	11376
-----	---	-------	-------

学科名・学年	機械工学科・4年（プログラム1年）
担当教員	全教員（機械工学科）
区分・単位数	履修単位科目・必修・1単位
開講時期・時間数	後期，30時間【内訳：講義0，演習0，実験0，その他30】
教科書	
補助教材	必要に応じて指導教員から資料が配布されるか，参考文献が提示される。
参考書	

### 【A. 科目の概要と関連性】

学科内のいずれかの研究室に所属し，5年次の卒業研究に向けた準備を行う。所属の担当教員の助言を受けつつ，研究テーマの検討，必要な知識を補うための学習を行う。

○関連する科目：卒業研究(次年度履修)

### 【B. 「科目の到達目標」と「学習・教育到達目標」との対応】

この科目は長岡高専の教育目標の(G)と主体的に関わる。

この科目の到達目標と，成績評価上の重み付け，各到達目標と長岡高専の学習・教育到達目標との関連を以下の表に示す。

科目の到達目標	評価の重み	学習・教育到達目標との関連
① 機械工学分野における研究課題について、指導教員の下で、研究の背景・概要について理解し、実験法・解析法・発表能力などの研究遂行のための基礎を身に付ける。	30%	(g1)
② 卒業研究発表会、中間発表会などに参加し、関連の研究について、調査・議論する能力の基礎を身に付ける。	30%	(g1),(g2)
③ 研究の基礎となる資料や文献を読み、これまでに学んだ専門科目を復習するとともに、読解力・文章能力などの基礎を身に付ける。	40%	(g1)

### 【C. 履修上の注意】

各研究室の担当教員の説明をよく聞き，理解することが大切である。また配属先の研究室で行われている研究について，5年生の研究に対する取り組み方などもよく学ぶことが必要である。後期の限られた時間であるが，積極的に取り組むことにより効果を上げるべく努力してもらいたい。

### 【D. 評価方法】

次に示す項目・割合で達成目標に対する理解の程度を評価する。60点以上を合格とする。

- 学習時間報告書・平常時の取り組み（30%）
- 課題レポート（70%）

【E. 授業計画・内容】

● 後期

月	内容	備考
10	研究室配属, 卒業研究中間発表会	
11	資料収集, 実験, 調査, ゼミナール	
12	資料収集, 実験, 調査, ゼミナール	
1	実験, 調査, ゼミナール, 卒業研究発表会	
2	まとめ, 報告書作成・提出	